

昭和 6 0 年 9 月招集

第 3 回館山市議会定例会会議録

館山市議会

目 次

○第1号（9月13日）

開 会	9
議長の報告	9
議案の配付	9
会議録署名議員の指名	9
会期の決定	10
会議日程の決定	10
議案第39号～議案第49号、認定第1号～認定第8号	

（提案理由の説明） 10

延 会	17
本日の会議に付した事件	17

○第2号（9月17日）

開 議	21
行政一般通告質問	22
日下 君敏君の質問、当局の応答	22
山中金治郎君の質問、当局の応答	37
田沢 勝信君の質問、当局の応答	47
石井 武敏君の質問、当局の応答	60
神田 守隆君の質問、当局の応答	76
散 会	89
本日の会議に付した事件	89

○第3号（9月18日）

開 議	94
議案第40号	94
神田 守隆君の質疑、当局の応答	95
安西 益男君の質疑、当局の応答	96
山中金治郎君の質疑、当局の応答	100
委員会付託	101
議案第39号、議案第41号～議案第46号	101
神田 守隆君の質疑、当局の応答	101

安西 益男君の質疑、当局の応答	102
飯田 義男君の質疑、当局の応答	103
委員会付託	105
議案第47号～議案第49号	105
石井 武敏君の質疑、当局の応答	105
神田 守隆君の質疑、当局の応答	111
委員会付託	114
延 会	114
本日の会議に付した事件	114
◎第4号（9月19日）	
開 議	118
議長の報告	118
認定第1号～認定第8号	119
石井 武敏君の質疑、当局の応答	119
山中金治郎君の質疑、当局の応答	127
神田 守隆君の質疑、当局の応答	131
安西 益男君の質疑、当局の応答	138
田沢 勝信君の質疑、当局の応答	142
石井 武敏君の質疑、当局の応答	144
決算審査特別委員会の設置、付託、委員の選任	147
延 会	148
本日の会議に付した事件	148
◎第5号（9月27日）	
開 議	153
議案の配付	153
議案第40号	153
総務委員会委員長報告	153
採決	155
議案第39号、議案第41号、議案第47号	155
総務委員会委員長報告	156
採決	158

議案第 4 2 号～議案第 4 5 号、議案第 4 8 号、議案第 4 9 号……	1 5 8
文教民生委員会委員長報告……	1 5 9
採決……	1 6 1
議案第 4 6 号……	1 6 2
建設経済委員会委員長報告……	1 6 2
採決……	1 6 4
継続審査について（請願第 4 号）……	1 6 4
認定第 1 号～認定第 8 号……	1 6 4
決算審査特別委員会委員長報告……	1 6 4
神田 守隆君の討論……	1 7 0
採決……	1 7 1
議案第 5 0 号……	1 7 2
説明……	1 7 2
委員会付託の省略……	1 7 2
採決……	1 7 3
議案第 5 1 号……	1 7 3
説明……	1 7 3
委員会付託の省略……	1 7 4
採決……	1 7 4
議案第 5 2 号……	1 7 4
説明……	1 7 4
委員会付託の省略……	1 7 5
採決……	1 7 5
閉 会……	1 7 5
本日の会議に付した事件……	1 7 5

第 3 回 館山市議会定例会会議録
(第 1 号)

1 昭和60年9月13日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 神田 守隆
3 番 山中金治郎
5 番 川名 正二
7 番 榎本 春光
9 番 福原 勤
11 番 飯田 義男
13 番 石井 昌治
15 番 渡辺 昭夫
17 番 近藤 好雄
20 番 石井 武敏
23 番 伊賀 多朗
25 番 五十嵐 昇
27 番 安西 益男

2 番 田沢 勝信
4 番 日下 君敏
6 番 生稲 隆
8 番 小宮 利夫
10 番 横溝 功
12 番 石井 謀
14 番 伊藤幸太郎
16 番 松下 正己
19 番 黒川 平治
22 番 林 豊
24 番 流山源次郎
26 番 石井 正
28 番 安澤 徳順

1 欠席議員 1名

21 番 吉田勇治郎

1 出席説明員

市長 半澤 良一
収入役 山田 俊康
総務部長 川畑喜代志
経済部長 吉岡 政雄
教育委員会 杉村 芳枝
教育委員会 加藤 利
選挙管理委員会 鈴木 重司
監査委員 池田 六郎
農業委員会 事務局長

助 役 小倉 澄男
市長公室長 斉藤 武男
民生部長 鈴木 力
水道課長 石井 敏夫
教育委員会 福原 修
教育委員会 佐藤 輝雄
選挙管理委員会 橋本 巖利
監査事務局長

1 出席事務局職員

事務局長 庄司 利光
書記 鈴木 哲
書記 熊井 成和

事務局長補佐 兵藤 恭一
書記 土橋 康彦

1 議事日程（第1号）

昭和60年9月13日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

- 日程第4 {
- 議案第39号 字の区域及び名称の変更について
 - 議案第40号 財産の取得について
 - 議案第41号 財産の取得について
 - 議案第42号 館山市母子又は父子の家庭に対する医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第43号 館山市身体障害者家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第44号 老人家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第45号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 議案第46号 公有水面埋立免許に関する答申について
 - 議案第47号 昭和60年度館山市一般会計補正予算（第1号）
 - 議案第48号 昭和60年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
 - 議案第49号 昭和60年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）
 - 認定第1号 昭和59年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第2号 昭和59年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第3号 昭和59年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
 - 認定第4号 昭和59年度館山市と畜場特別会計歳入歳出

決算の認定について

認定第 5 号 昭和 59 年度館山市ユースホテル特別会計
歳入歳出決算の認定について

認定第 6 号 昭和 59 年度館山市学童災害共済事業特別会
計歳入歳出決算の認定について

認定第 7 号 昭和 59 年度館山市水道事業特別会計収支決
算の認定について

認定第 8 号 昭和 59 年度館山市国民宿舎事業特別会計収
支決算の認定について

開 会 午前 10 時 11 分

○議長（流山源次郎君） 本日の出席議員数 26 名、これより昭和 60 年
第 3 回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（流山源次郎君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第 121
条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありま
したので、御了承願います。

なお、監査委員から 6 月乃至 8 月実施の監査結果、市長から清掃センタ
ー建設費に係る継続事業費精算書が報告されております。それぞれお手元
に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（流山源次郎君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付があ
りました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（流山源次郎君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

2 番議員田沢勝信君、27 番議員安西益男君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（流山源次郎君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本9月13日から9月27日までの15日間ということであります。

お諮りいたします。会期を15日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、会期は9月13日から9月27日までの15日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（流山源次郎君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして大体このようにいたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長（流山源次郎君） 日程第4、議案第39号乃至議案第49号及び認定第1号乃至認定第8号を一括して議題といたします。

提案理由の説明

○議長（流山源次郎君） これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 本日、ここに第3回市議会定例会を招集いたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしました。議員の皆様方には、御多忙のところ御出席をいただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、条例議案4件、一般議案4件、補正予算3件並びに認定8件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第39号字の区域及び名称の変更についてでございますが、これは、県営ほ場整備事業の一環として、土地改良法第85条第1項の規定により事業を施行し、完了いたしましたので、地方自治法第260条第1項の規定により、字の区域及び名称を変更しようとするものでございます。

その区域及び名称は、館山市大字竹原、藺、水玉、大井、広瀬の各一部及び大字正木、亀ヶ原、高井、那古の各一部でございます。

なお、詳細につきましては、説明資料により御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第40号及び第41号財産の取得についてでございますが、これらは、現在計画が進められております館山駅周辺市街地整備事業の実施に伴う仮店舗、仮営業所等に必要のため、議案第40号につきましては、館山市北条字新塩場1630番地の1外の鉄骨造り陸屋根2階建て、延べ床面積370.87㎡の建物について、予定価格3140万6000円をもって館山銀座商店街振興組合から、また、議案第41号につきましては、館山市北条字新塩場1625番地の25外の鉄筋コンクリート造り陸屋根3階建て、延べ床面積549.1㎡の建物について、予定価格3530万6000円をもって吉田漁具株式会社からそれぞれ先行取得しようとするものでございます。なお、これらの建物の所在する土地につきましては、館山銀座商店街振興組合から276.42㎡、館山市沼1039番地の2吉田政弘氏から245.03㎡をそれぞれ取得する予定でございます。

次に、議案第42号館山市母子又は父子の家庭に対する医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、千葉県母子家庭医療費助成事業補助金交付要綱が昭和60年8月6日改正され、本年10月1日から施行されることとなりましたので、本市のこの条例も

県の要綱にあわせて改正しようとするものでございます。

改正の内容でございますが、これまで歯科に係る医療費につきましては助成の対象とされておりませんでした。今回、これを助成の対象とする改正をし、本年10月1日から施行しようとするものでございます。

次に、議案第43号館山市身体障害者家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、今回、国の要綱が改正され、家庭奉仕員を利用する場合の利用者世帯の階層区分及び1時間当たり費用の負担額がそれぞれ改められましたので、本市におきましても同様に改正し、本年10月1日から施行しようとするものでございます。

改正の主な内容といたしましては、利用者世帯の階層区分につきまして、これまでの4階層区分を6階層区分にし、A、B階層を除く階層の1時間当たり費用の負担額をそれぞれ改めようとするものでございます。

なお詳細につきましては、説明資料により御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第44号老人家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、これは、議案第43号でお願いいたしました館山市身体障害者家庭奉仕員派遣事業に関する条例の一部改正と同様、国の要綱改正にあわせて利用者世帯の階層区分及び1時間当たり費用の負担額を改正しようとするものでございます。

次に、議案第45号館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、浄化槽法が昭和58年5月18日制定され昭和60年10月1日から施行されることになりましたので、館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例もこの法律にあわせて改正しようとするものでございます。

改正の内容でございますが、現在、し尿浄化槽清掃業の許可又は許可の申請は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定に基づいて行われておりますが、浄化槽法の施行により、浄化槽清掃業として同法の規定に基づいて行われることとなりますので、関係条文を改正しようとするものでございます。なお、詳細につきましては、説明資料により御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第46号公有水面埋立免許に関する答申についてでございますが、これは、公有水面埋立法第3条第1項の規定により、千葉県知事か

ら館山市船形地先の公有水面の埋立免許について諮問がありましたので、同条第4項の規定により市議会の議決を求めるものでございます。

次に、議案第47号昭和60年度館山市一般会計補正予算（第1号）でありますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ1億6537万3000円を追加し、総額95億2234万3000円としようとするものでございます。

歳出のうち主なものといたしまして、議会費では、議会図書室整備のため図書購入費として50万円、総務費では、老人保護費負担金などの返還金で135万4000円、これは、昭和59年度に交付を受けた国庫負担金及び県補助金のうち、精算確定に伴い、それぞれ返還するものでございます。

民生費では、福祉の制度や施策を有効、適切に利活用できるよう、そのあらましをわかりやすく解説した「福祉のしおり」を作成し、全戸に配布するための印刷製本費で170万円、重度痴呆性老人介護手当で50万7000円、これは、福祉の増進を図るため、在宅の重度痴呆性老人を常時介護する方に対して手当を支給し、その負担を軽減するため10月1日より実施しようとするものでございます。また、当初予算で館野保育園裏山の土砂崩れ防護のためフェンス取付工事請負費を計上いたしましたが、危険箇所の拡大に伴い、園児及び園舎の安全を確保するため工事量の増加が必要となりましたので113万円の追加をお願いするものでございます。

衛生費では、河川等浄化対策事業として、主要な河川、排水路の現況調査、処理方式の検討等総合解析を行うため、河川等浄化対策調査委託料で360万円、農林水産業費では、畜産振興対策として、と畜場の整備、充実を図るため、施設の補修工事に対する補助金で172万5000円、商工費では、商店街の近代化及び振興対策等の一環として用地等を取得し、館山駅周辺市街地整備事業の推進を図るため、市街地整備用地等購入費で9885万2000円、土木費では、城山公園整備事業として950万円を計上いたしましたが、これは、公園入口に設置を予定しております造形作品の製作委託料と関連する工事請負費が主なものでございます。

教育費では、来年度以降国の補助を受けて建設を予定しております船形小学校及び第2中学校の講堂防音改築工事に伴う地質調査及び設計委託料

等で1540万3000円、市民センターボイラー修繕工事請負費で57万円、温水プール等、社会体育施設の建物等修繕料で52万円、これは、7月の台風6号による被害に伴う補修経費相当分でございます。

災害復旧費では、本年2月の豪雨により被害を受けた市道山本線及び蟹田川外3河川の災害復旧工事関連経費で2821万7000円をそれぞれ追加計上いたしました。

以上、歳出の主なものについて御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、国、県支出金及び地方債の特定財源で3110万1000円、その他老人保健特別会計繰入金の減額を含め繰越金をもって充当しようとするものでございます。

このほか、地方債補正といたしまして、土木施設災害復旧事業債の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第48号昭和60年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）でございますが、歳入歳出それぞれ1170万5000円を追加し、総額24億3921万1000円としようとするものでございます。これは、老人医療費が当初見込みより少なかったことにより、老人保健医療費拠出金で1049万4000円の減額と昭和59年度療養給付費交付金の精算額の確定による返還金2219万9000円の追加によるものでございます。

次に、議案第49号昭和60年度館山市老人保健特別会計補正予算（第1号）でございますが、前年度、支払基金、国及び県並びに一般会計からの交付金及び負担金等により事業を実施し、本年度において昭和59年度分の医療費等をそれぞれ精算することになりましたが、これにより医療費県負担金返還金109万6000円、審査支払手数料交付金返還金41万9000円、また、一般会計繰出金では3055万1000円の減額等、合計2896万3000円の補正をお願いするものでございます。

次に、認定第1号ないし第8号の諸案件は、いずれも昭和59年度館山市一般会計ほか7特別会計の歳入歳出決算の認定について、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して市議会の認定をお願いするものでございます。

昭和59年度のわが国経済は、58年度に引き続き、米国を初めとする

世界経済の回復、物価の安定、新たな技術革新への急速な進展等を背景といたしまして、国内需要及び設備投資が緩やかながら順調に増加したほか、国際間における貿易摩擦の中にあっても輸出が好調であったことなど、全体として景気は拡大の方向を示しました。

国におきましては、景気の持続的拡大、物価の安定基調の維持、行財政改革の推進、調和ある対外経済関係の形成、経済社会の中、長期的な発展基盤の整備等これら実現のため財政の対応力の回復を一層緊急かつ重要な政策課題といたしまして、歳入の見直しと同時に、経費の徹底した節減合理化を行い、その規模の抑制により限られた財源の質的な充実に配慮するなど、公債発行額を可能な限り抑制することに努めてまいりました。また、特に注目すべきことといたしましては、歳出の抑制が今までのような単なる総量カットにとどまらず、制度、施策の基本にまで踏み込んだ見直しが行われたことでございます。

一方、地方財政におきましても、経常的経費、投資的経費共に抑制基調の中で、税制の改正、受益者負担の適正化等による収入確保を通じて極力収支不均衡の是正に努めてもなお多額の財源不足が生じることになりました。しかし、住民生活に直結する内政の担い手として、住民サービス、住民福祉の確保、社会資本の整備、充実、地域経済の振興等高度化する行政需要に的確に応えるため、地方交付税の増額と建設地方債の増発により、必要な財源の確保が行われました。しかしながら地方財政の現状は、累積した地方債及び交付税特別会計借入金残高を抱え、収支不均衡の財政構造から脱却しえず、深刻な状況が続いているところでございます。

このような国及び地方財政を取り巻く厳しい環境の中で、本市におきましては、行政の果たすべき役割に配意し、経費の節減合理化、効率化の観点から、既存の事務事業の全般について徹底した見直しを行い、緊急性及び優先度を十分検討し、真に必要な施策について取捨選択をする中で、節度ある財政運営を行うことに意を用いてまいりました。予算の執行に当たっては、議員各位からいただきました御意見、御提言に十分留意いたしまして、市民一人一人を尊重した市民生活の安定を基本理念に「明るく豊かな香り高い文化福祉都市」の実現のため「快適な生活環境づくり」「健康で心通う福祉社会づくり」「活力ある教育文化の環境づくり」「地域振興

を目指した産業の基盤づくり」を主要施策といたしまして、健全財政の堅持を図りながら、市民生活の向上を目標として努力してまいりました。この結果、一般会計におきましては、歳入総額100億2461万余円で対前年度比7億2355万余円の減、歳出総額では、97億8401万余円で対前年度比6億2751万余円の減となり、実質収支におきまして2億4060万余円の黒字決算となりましたが前年度に比べ9389万余円の減となっております。また、特別会計におきましては、その運営の合理化、適正化を図りながら独立採算制の確保に努めました。

国民健康保険会計におきましては、実質収支で7636万余円の黒字となっておりますが、前年度に比べ47%の減となりました。これは、歳入で昭和59年10月1日より国庫負担率の改定が実施され、療養給付費等負担金が減少したことによるものでございます。

老人保健会計におきましては、前年度より医療費は伸びたものの、見込みに比べ県負担金等の超過交付によりまして、単年度収支では261万余円の余剰金を計上いたしました。

水道企業会計におきましては、前年度に引き続き拡張事業計画をたてるため、水源調査としてダム調査を実施したほか、九重地区の地下水源試掘調査を行いました。また、既存施設の整備拡充を図るため、佐野浄水場にさく井工事及び配水池増設工事、宮城浄水場の沈澱池改修工事の施工や見物、山本両浄水場に塩素用緊急遮断弁の設置をするなど安全対策にも努めました。このほか、六軒町及び三軒町地先に配水管増設工事を行い、より安定した給水ができるよう施設の整備に努めました。

収益的収支につきましては、給水量の伸びに伴う給水収益の増があったものの、営業費用の増加により、単年度収支3397万余円の純損失を生じましたが、前年度未処分利益剰余金2015万余円を補てんし、なお不足する額については、当該年度未処理欠損金といたしました。資本的収支につきましても2975万余円の不足を生じ、過年度分損益勘定留保資金で補てんすることといたしました。

国民宿舎企業会計におきましては、経費の節減に努め、事業の安定化を図ると共に、利用客の増大へ向け一層の諸サービスを実施してまいりました。この結果、低調な経済情勢下でありましたが、利用者数等の増により

改善はみられたものの、収益的収支につきまして単年度収支1192万余円の純損失となりました。

以上、昭和59年度の決算についてその概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては「決算に係る主要な施策の成果に関する報告」及び「歳入歳出決算事項別明細書」等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、この会期中追加議案といたしまして、千葉海区漁業調整委員会委員死亡により10月に補欠選挙が予定されますので、これに伴う選挙費に係る昭和60年度館山市一般会計補正予算を、また、任期満了に伴う館山市教育委員会委員の任命について並びに館山市監査委員の選任について市議会の同意を得たく、上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願いいたします。

○議長（流山源次郎君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時37分

○議長（流山源次郎君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（流山源次郎君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明9月14日から16日まで議案調査のため休会、次会は9月17日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。一般議案、補正予算についての質疑通告の締め切りは9月17日正午まででありますので、申し添えます。

○本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第39号乃至議案第49号、認定第1号乃至認定第8号

